

校長先生のお話 No.2

R5. 4. 14

今、先生方に「宿^{しゅくだい}題^{だい}を減^へらしてください」とお願いしています。

みんなのため？ そう、みんなのためです。

ゲームがたくさんできるようにするため？ いいえ、^{ちが}違います。

さくねんど 昨年度の「校長先生のお話」にも少し書きましたが、自主学^{じしゅがくしゅう}習^{しゅう}をたくさんやってもらうためです。

宿題って、かんたんなんです。めんどくさいかもしれないけど。「計算ドリル 14、15ページをやってみましょう。」ならそれをやればいいですよ。そう、言われたことをやればいい。それって計算の力はあるかもしれないけれど、本当の学ぶ力はつきません。

本当の学ぶ力は、

- ① 何を学習するか、自分で見つける。自分で考える。
- ② どうやるかを自分で考える。自分で見つける。
- ③ やってみて、うまくいかなかったらちがう方法を考える。やってみる。うまくいったら、もっと良くならないか考える。ほかの人から学ぶ。
- ④ 計算ドリルのように答えがない。ほかの人と同じことをしていない。



これをやろうと思ったら、とても大変なんです。最初^{さいしよ}の2、3週間は。でも、みんなならすぐに慣^なれます。

「何をやったらいいかわからない」そんな人は、「自主学習の手^て引^びき」を見てください。こんなもの

をやったらいいよという例^{れい}が169個^こものっています。その中から一つ選^{えら}んでやってみてください。そ

のうちに「こんなをやったら面白^{おもしろ}そう」っていうのが出てきます。それが見つかるとなれば、そうとうレベルの高い自主学習マイスター（プロってこと）です。

そして1週間に1回くらい学校に持ってきてもらいます。みんなの前で発表してもらうためです。そうすると、ほかの人がやっている学習^{さんこう}が参考になるでしょう。そうやってどんどんレベルを上げていきます。

ノートはおうちのひとに用意してもらってくださいね。どんなノートでもいいです。オンリーワンノートの続きから使ってもかまいません。

みなさんにとって、とても大切な力になります。ぜひおもしろい自主学習を見つけてください。



もしも、
消防士^{しょうぼうし}だったら日記
を書こう



ふか 深い海の底^{そこ}にすむ魚は、普通^{ふつう}の魚とどこがちがうのか